

天国への手紙

2020年7月19日放送分

部長へ

ラジオネーム：まる

部長、生前はお世話になりました。

私生活では接点がなく、会社内の上司・部下の関係ではありましたが、私のそれ程長くない人生の中で、最も印象に残っている一人が部長です。

部長は覚えていないかもしれませんが、初めてお会いしたのは10年前：私の入社後の、各部署への挨拶まわりでした。

正直言うと第1印象は「怖そうな人」です。

立ち居振る舞いが横柄なわけでもないのに、雰囲気がそう感じさせたのだと思います。

事実、部長は非常に厳しい方でした。

ですが、部長は皆にとても頼りにされていました。

仕事出来る事もそうですが、理不尽さがなく、筋が通って男気に溢れていたからだと思います。

そんな部長と、初めて仕事をした時の事は鮮明に覚えています。

当時、私としては初めての大きな仕事でした。

資料の整理は勿論、スピーチの文章を暗唱できるくらいに読み込んだりと、万全の状態で挑んだのですが…いざ当日。

緊張で頭が真っ白になってしまい、資料も読めないくらいに

パニック状態になってしまいました。

その後、部長から呼び出された時は怒られるのだろうと
びくびくしていましたが、かけられたのは励ましの言葉。

「自分で考えた企画だろう？何も臆せず、胸を張って

アピールしなければ、せっかくの企画も可哀想だ。」

その後、部長のアドバイスをいただきながらも、

数々の企画を生み出してくることができました。

あの1件から、私は部長を目標に仕事を頑張っています。

部長が亡くなられてからも、それは変わりません。

これからも気を抜かず、私なりのやり方で頑張っていきます。

リクエスト曲

∧ TOKIO ∕ 沢田研二 ∨

部長が好きだった曲をリクエストします。